

令和4年度予算・組織案



令和4年2月17日

令和4年度富山県一般会計予算

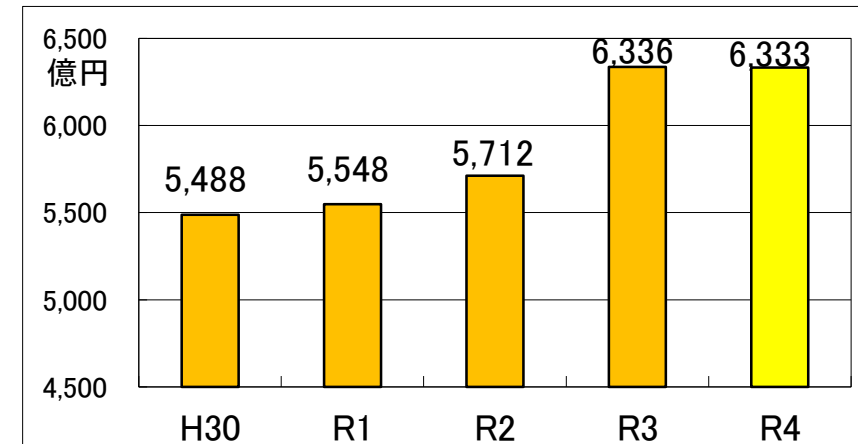
令和4年度一般会計当初予算額

6,333億347万円 (対前年度△3億円△0.0%)

- 新型コロナ対策と社会経済活動の両立を図るとともに、「**幸せ人口1000万 ウェルビーイング先進地域、富山**」の実現に向け、**具体策を盛り込んだ積極型予算**
- **当初予算としては、昨年度に次ぐ規模（過去2番目） 15か月予算ベースでは、国経済対策等により過去最大**

(単位 億円、%)

<予算総額>	令和4年度	令和3年度	前年度比	
			増減額	増減率
当初予算	6,333	6,336	△3	△0.0
前年度1・2月補正	522	365	+157	+43.0
計（15か月予算）	6,855	6,701	+154	+2.3



*15か月予算は、当初同時提案分の2月補正のほか、令和4年度には、1月臨時会提案分を含む

過去5年間の一般会計当初予算の推移

令和4年度富山県一般会計予算

- **新型コロナ対策と社会経済活動の両立**を図るとともに、「**幸せ人口1000万 ウェルビーイング先進地域、富山**」の実現に向け、**富山県成長戦略及び富山八策の8つの柱からなる重点政策を推進**

1. 新型コロナ対策（174億円） ※新規拡充分

感染拡大防止、医療提供体制整備、事業継続・雇用維持、経済活動の回復など
(R③134億円)

- ・県民の暮らしと安全を守るため、医療提供体制確保などの新型コロナ対策経費を通年分計上
- ・中小企業ビヨンドコロナ補助金など事業継続や経済活動の回復に向けた対策を強化

※継続事業を含めた総額は635億円 (R③637億円)

2. 新規重点経費（85億円）

(R③83億円)

■ 富山県成長戦略の6つの柱からなる重点政策

- ① 真の幸せ(ウェルビーイング)戦略
- ② まちづくり戦略
- ③ ブランディング戦略
- ④ 新産業戦略
- ⑤ スタートアップ支援戦略
- ⑥ 県庁オープン化戦略

■ 富山八策の8つの柱からなる重点政策

- ① 産業・経済の活性化
- ② 女性活躍の推進、子育て環境の充実
- ③ 健康寿命の延伸、医療・介護の充実
- ④ デジタル化・産学官連携・市町村連携の推進
- ⑤ 農林水産業の振興、持続可能な地域づくり
- ⑥ スポーツ・文化の振興、多様な人材の活躍、SDGsの推進
- ⑦ 教育の充実など人材育成の推進
- ⑧ 観光振興など選ばれる県づくり

3. サンドボックス予算（1.3億円）

現場の視点、アイデアを活かし、新たな課題に迅速・果敢に対応
(R③1.1億円)

- ・各部局1,000万円
- ・R3年度サンドボックス予算における実施事業(29事業)のうち9割以上の事業について、R4年度当初予算に反映

事業の見直し・再構築

- これまでの「マイナスシーリング」による一定率の削減ではなく、事業自体の廃止も含めた抜本的見直し・再構築を実施
- 見直し効果額は、事業費ベースで18.2億円（R③10.6億円）

※マイナスシーリングの廃止により、事業の廃止・再構築数が大幅に増。その結果、見直し効果額は、対前年度約8億円の増。事業の新陳代謝が一定程度前進。

	R4	R3	R2	R1	H30	H29
見直し事業件数(件)	362 ←	602	175	158	237	239
うち廃止・再構築	316 ←	52	41	46	90	87
うち縮減	46 ←	550	134	112	147	152
見直し効果額(億円)	18.2 ←	10.6	4.3	4.3	5.6	6.4

*見直し効果額は事業費ベース

事業の見直し・再構築

園芸産地支援事業の見直し

J Aの戦略品目に限らず、地域で振興する品目の収益性向上や担い手の育成等、生産から流通・販売までの一貫的な取組みを総合的に支援する体制に再構築

介護士・保育士等研修等のオンライン化

介護士・保育士等の各種研修（239事業）や会議（127事業）についてオンライン化を積極的に導入

- 研修への導入率 R③ 8% → R④ 83%
- 会議等への導入率 R③ 6% → R④ 82%

非常勤講師の配置見直し

非常勤講師の職種を統合し、学校現場のニーズに柔軟に対応できる人員配置体制へ見直し

少人数指導支援講師
学びサポート講師
中1学級支援講師



少人数教育推進講師

中小企業向け補助金の統合・再構築

中小企業リバイバル補助金、ミニリバイバル補助金、IoT・AI活用 ステップアップ補助金を統合し、中小企業ビヨンドコロナ補助金を創設

収支見通しと財源対策

- 歳入・歳出両面からの取組みにより、令和3年10月時点の要調整額50億円を解消するとともに、成長戦略や富山八策及び八十八の具体策を積極的に推進するための財源を確保

◆ 令和4年度当初予算編成（令和3年10月時点の試算からの財源確保等の取組み）※一般財源ベース
〔令和3年10月時点要調整額〕 **約▲50億円**

〔歳入〕 ■ 県税収入（実質税込）の増 **約+137億円**
 ■ 地方交付税・臨時財政対策債の減 **約▲150億円**

※R③税込増に伴うR④地方交付税の減額精算、臨時財政対策債の大幅な抑制

〔歳出〕 ■ 扶助費、人件費の増（県単医療費助成の拡充、コロナ対応の増等） **約+13億円**
 ■ 一般行政経費の増（成長戦略推進+7、その他の減▲3） **約+4億円**

〔財源対策〕 ■ 県債管理基金からの繰入 **約+50億円**

※ R③税込増に伴うR④地方交付税の減額精算への対応等

■ 事業の見直し・再構築の取組効果 **約+9億円**
 ■ 地方創生臨時交付金等のコロナ対策のための交付金の確保等 **約+22億円**

 **要調整額を解消**

（経済情勢にもよるが、令和5年度以降も要調整額（R⑤25億円、R⑥32億円）が見込まれるなど、当面は厳しい状況が続くものと想定）

県債残高と財政調整基金等の見通し

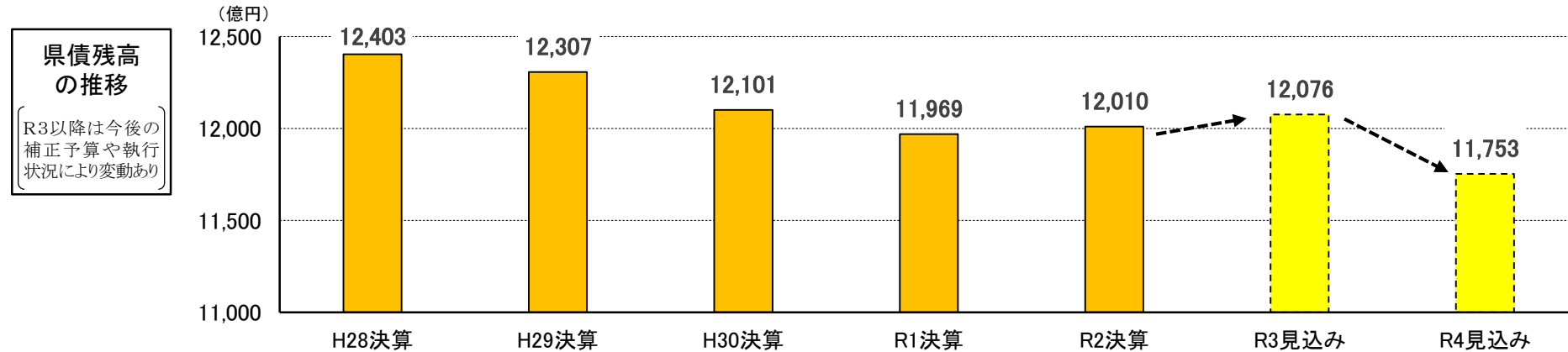
◆ 県債残高はR3末において昨年度に引き続き増加し、R4末は減少に転じる見通し

⇒ R4末県債残高見込み: 1兆1,753億円 (R3末見込み1兆2,076億円)

R3末←R2末 +66億円

[参考] R4末国債残高見込み: 1,026兆円 (R3末見込み1,004兆円)

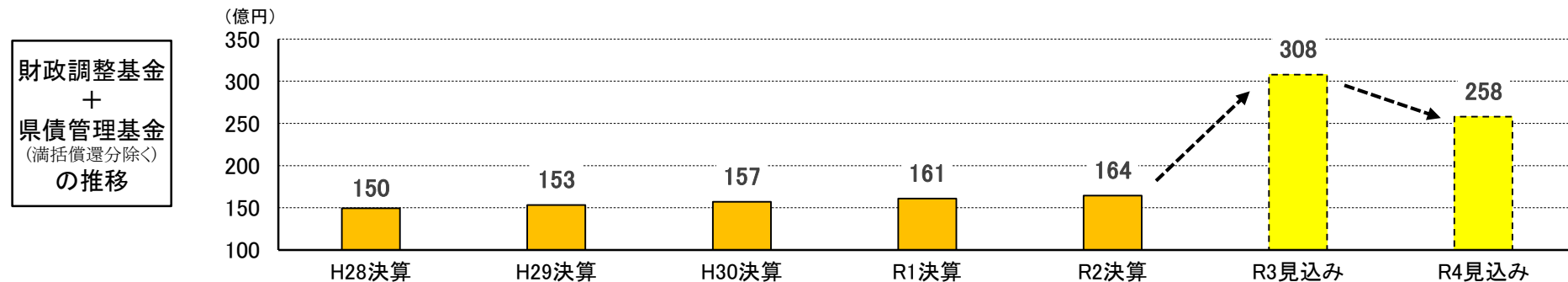
R3末←R2末 +57兆円



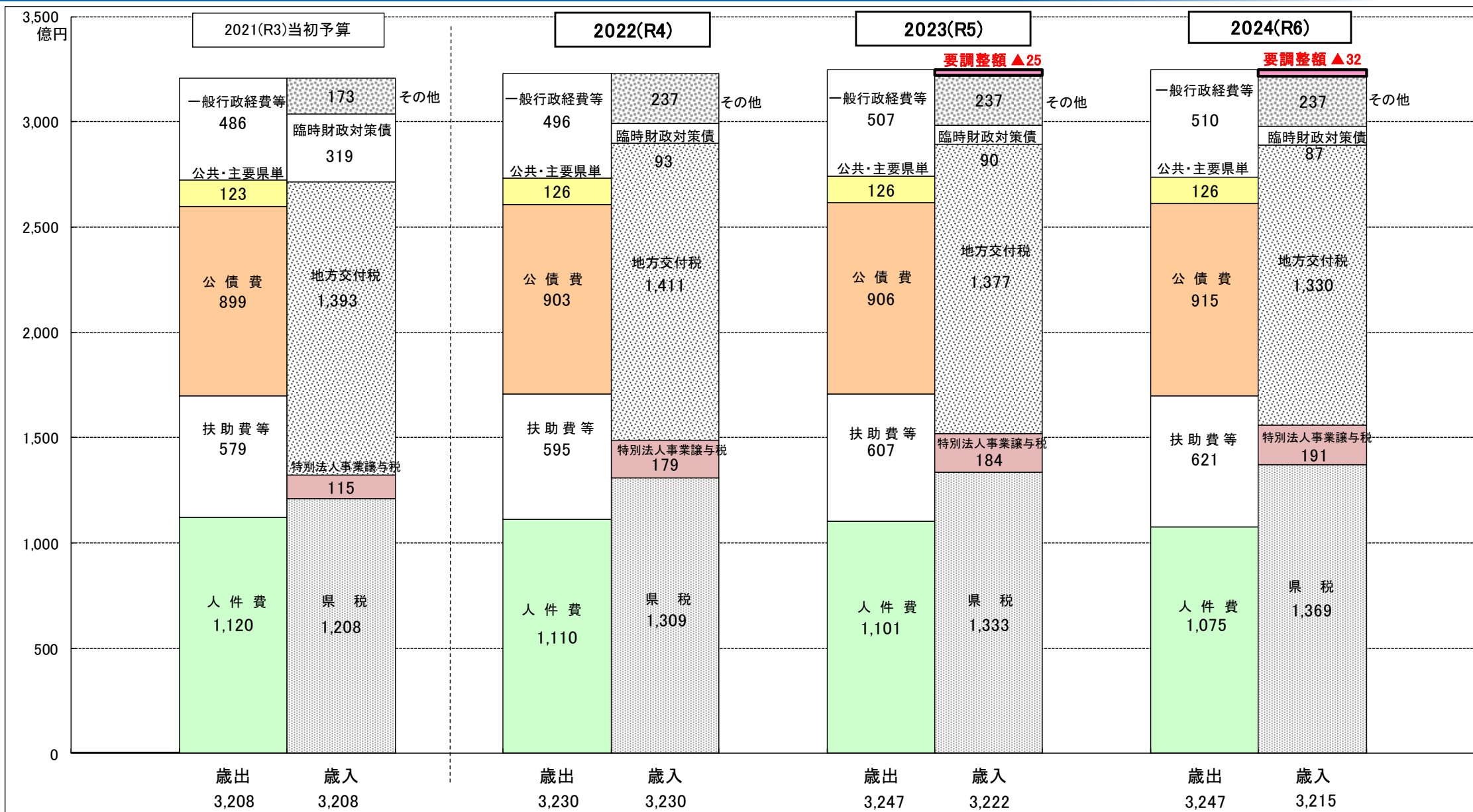
◆ 財政調整基金と県債管理基金 (満期一括償還分除く) はR4末見込で258億円 (R3標準財政規模の8.2%) の見込み

※ R3実質増収の増額分 (R3.2月補正: 140億円) は、今後急激な収入減や財政支出等の事態が発生しても県債の償還に支障が生じないように全額を県債管理基金へ積立て

(R3実質増収の増額に伴う地方交付税の減額精算等の収入減に対応するため、R4当初予算で50億円を取崩し)



中期的な財政見通し（一般財源ベース） 令和4年2月



(注) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。県税は、都道府県間清算及び市町村交付金交付後の実質税収ベース。